

秋の味覚をお届け

北営農センター 石原誓志郎

柿部会 「太秋」出荷

品質良好で出荷は11月20日頃まで



柿部会は、柿「太秋」を10月上旬から出荷。出荷本番前にはJA北営農センターで目ならし会を開き、出荷規格の徹底で有利販売に繋げようと意志統一を図りました。本格出荷は10月20日から11月20日頃まで。本年産は、夏の猛暑やカメムシ等の害虫の心配がありましたが、台風などの強風もなく玉太りも良く、品質良好で出荷が来ています。

葛原隆昭部会長は「糖度も乗り品質は良好。順調に出荷が出来、収量も昨年を上回る出荷ができそう」と話しています。生産者は収穫をしながら、次年度に向けての柿木の管理にも注意を払っています。

栗部会 「菊池栗」出荷 10月末出荷終了

選別の徹底で信頼される産地づくり



8月中旬から出荷が始まった「栗」は、9月から10月に最盛期となり、10月末に終了。部会では品質重視の選別を徹底し、「菊池栗」の信頼される産地づくりを目指しています。収穫後、水処理選別をして目視での個別選別。集荷所に持ち込まれた栗は、担当職員による目視に加えて機械選別を行い等階級ごとに箱詰めをして出荷。労力軽減のためJAが地区ごとの集荷も行っています。

夏の猛暑が心配されましたが、出荷前には適度の雨もあり、台風の強い風もなく、玉太りも良く2L中心で出荷が出来ました。生産者は、次年度に向けて、栗の木の剪定や管理を行います。

葱(ネギ)部会 第27回総会

最優秀賞に隈部さん 高品質賞に岩根さん



27回目となる部会総会を9月26日、旭志中央支所で開きました。令和6年度は11月に目ならし会を行い、年明けに最盛期となり、1月下旬には鮮度市場本店で、東部青果と販売促進会を行いました。試食したお客様からは「甘みがあって、柔らかくておいしい」と好評で、たくさん買い求めてもらうことができました。令和7年度も、現地検討会、講習会を行い良質な「白ネギ」を出荷していきます。

〈表彰〉

最優秀賞 隈部 弘樹 高品質賞 岩根 勇二

北営農センター 吉良 優輝



茶部会 製造方法の学習会



菊池茶の魅力を発信しよう

世界的に抹茶ブームが起こっています。特に北米やアジア、ヨーロッパでは健康志向、日本らしさを感じられる商品として人気が高まっています。そんな中、茶を丸ごと食べる「粉末緑茶」の要望も高まっています。粉末に適した新しい製造方法について学びました。今後さらに学習会を重ね、「菊池茶」の魅力を発信していきたいと考えています。

※お茶の葉を蒸した後、揉まずに乾燥させたものを「もが茶」といいます。その後の用途で粉碎、粉末にしてお菓子や料理などに使いやすくなり、茶の栄養を丸ごといただけます。

南営農センター 酒井 俊一郎